

私たちが「農地利用最適化推進委員」です



白石地区 越河地区 越河地区 斎川地区
菊地 哲夫 佐久間吉光 佐藤 一郎 國分 光彦



大平地区 大鷹沢地区 大鷹沢地区 白川地区
大野 善久 阿部 清 佐藤 榮夫 佐藤 良夫



蔵王・不忘・川原・三住地区 蔵本・長袋・八宮地区 蔵本・長袋・八宮地区 深谷地区 深谷地区 小原地区
阿部耕太郎 山本 幸典 大津 正治 佐藤 浩志 塚野 隆 進藤 清一

【凡例】 ・担当地区 ・氏名(敬称略)

農地パトロール（利用状況調査）を実施しています

農業委員会では、毎年1回、すべての農地を対象に、農地法に基づく利用状況調査を実施し、その結果により利用意向調査や非農地判断などを行います。

- 利用意向調査……「遊休農地」と判断された場合は、所有者などに今後の農地利用意向を確認します。
- 非農地判断……再生困難と判断された場合は、所有者などに「非農地通知」を送付します。

※作付けしない場合でも、草刈りなどの適正な管理をお願いします。農地の荒廃は、病虫害や有害鳥獣被害、不法投棄のほか、違反転用の誘発など周辺農地に大きな影響を与えます。

農地の貸し借りや他の目的に利用する場合、必ず申請が必要です

- 農地を農地として他の人に貸したり、譲り渡したり、または他の目的（宅地や資材置場など）に利用（転用）する場合は、農業委員会への申請が必要となります。農業委員会では、毎月行われる総会において、申請の可否を審議します。転用の場合は、県に書類を送付し、県の許可を受けないと他の目的に利用することはできません。

「農地利用最適化推進委員」ってどんな仕事？

農地利用最適化の推進のために設置された委員です。担当する地域内において、農業委員と連携して、主に現場活動を行います。

集落における農業者の話し合いの場作りや、利用意向が確認された農地の貸し借りや売買のあっせん、遊休農地の発生防止や解消、新規参入希望者へのアドバイスなど、身近な相談員として農地のコーディネーター的な役割を担います。

また、農業委員会総会に出席して、担当する地域の「農地利用の最適化の推進について」意見を述べます。

新体制で農業委員会がスタート！

農業委員の任期満了に伴い、7月22日に市長から13人の新しい農業委員が任命されました。また、同日開催された第1回農業委員会総会で、会長に村上さき委員、会長職務代理者に江戸千佳雄委員がそれぞれ選任されました。7月27日に開催された第2回農業委員会総会では、新しい農地利用最適化推進委員14人が農業委員会から委嘱を受けました。任期はそれぞれ令和11年7月19日までの3年間です。

農地利用の最適化（担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進、優良農地の確保と有効活用）が農業委員会の必須業務となっており、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携して農地利用の最適化を目指します。

私たちが「農業委員」です



会 長
村上 さき



会長職務代理者
江戸千佳雄

「農業委員」ってどんな仕事？

農業委員会は、法律に基づき市町村に設置が義務付けられている行政委員会です。農業委員の過半数が認定農業者などが占めること、利害関係を有しない中立的立場の委員が1人以上含まれること、青年・女性の積極的な登用に努めることなどが義務付けられています。

農業委員は、農業委員会総会に出席し、農地の権利移動や転用申請などの法的審議を行います。また、推進委員と連携して農地利用の最適化を推進するため現場活動も行います。



佐藤 咲雄 半澤 武夫 日下 宗一 齋藤 義博 押野 一郎 山田 恵



高橋 和也 木須 敏文 畠山 基 遠藤 俊夫 大野 孝

【凡例】
・役職名
・氏名(敬称略)

白石の農業に、新しい風と活力を！



白石市農業委員会
会長 村上 さき

このたび、白石市農業委員会会長に就任いたしました。女性ならではの視点も大切にしながら、重責を全うすべく、皆さまと共に誠心誠意取り組んでまいります。

現在、白石市の農業は、担い手の高齢化や後継者不足が深刻化し、農村の持続性が大きな課題となっております。しかし、先人が守り抜いてきたこの豊かな大地を、次世代へ確実に引き継ぐことは私たちの使命です。

今後は、新たな担い手への支援や農地の効率的な活用に加え、多様な人材が活躍できる農村づくりにも注力したいと考えております。皆さまのお力添えを賜りながら、地域農業の未来を切り拓くべく邁進してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。